

ごあいさつ



昭和 51 年（1976 年）4 月 1 日に本財団が発足して以来、皆様には、本財団の諸事業につきまして多大なるご理解とご支援をいただき、心からお礼を申し上げます。

人類史上初の被爆都市である広島市は、被爆の惨禍を経験した被爆者の平和への願いを原点に、全人類の共存と繁栄、そして真に平和な世界が実現するよう取り組んでいます。

こうした中、本財団は、世界の約 8,600 の都市が加盟する平和首長会議と共に、核兵器のない平和な世界の実現に向けた様々な活動に取り組んでいます。引き続き、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（PX ビジョン）」に掲げた「核兵器のない世界の実現」、「安全で活力のある都市の実現」、「平和文化の振興」の三つの目標に向けて、加盟都市と連携しながら、一層の取組強化を図ってまいります。

被爆体験の継承のための取組につきましては、被爆体験証言者や被爆体験伝承者による講話に加え、令和 5 年度から新たに開始した家族伝承者による講話や、各分野のボランティアや若者が主体となる取組、国内外での原爆・平和展の開催などにより、幅広い場面で被爆の実相を伝えていきます。

また、異文化に対する相互理解を深めることが平和な世界を実現するための第一歩であることから、「国際フェスタ」の開催や、海外の 6 つの姉妹・友好都市ごとの「姉妹・友好都市の日」記念イベントの開催などを通して、国際交流の一層の促進と市民の国際意識の高揚を図っていきます。さらには、多文化共生のまちづくりを推進するため、多言語による外国人相談窓口の運営を行うとともに、在住外国人を対象とした入門日本語講座の開催や地域での日本語学習支援の担い手を育成する日本語ボランティア養成講座の開催など様々な取組を進めていきます。

今後とも、広島市との連携の下、被爆体験の継承、平和の推進及び国際交流・協力の促進を図り、平和を願う世界の人々及び団体との協働に積極的に取り組んでまいります。

引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和 8 年（2026 年）8 月

公益財団法人 広島平和文化センター

会長 まつ い かず み
松 井 一 實